

年間指導計画

令和元年度

中学部

6組

		前期				後期							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科別の指導	国語	「漢字」(書くこと) 「文章作り・作文」(言葉の特徴や使い方、書くこと)				「文章の読み取り」(聞くこと・話すこと・読むこと) 「主題に合った話をしよう」(聞くこと・話すこと)					「百人一首」(我が国の言語文化)		
	数学	「水のかさ」(数の計算、測定) 「大きい数」(数量の基礎、データの活用)				「さまざまな図形と面積」(数と計算・図形・測定) 「時刻と時間」(数と計算・測定・変化と関係)					「お金の計算」(数と計算) 「四則計算」(数量の基礎、数と計算)		
	音楽	歌唱、合奏、ダンス、鑑賞 (表現、鑑賞)											
	美術	描画「たけのこ」(表現) 心の模様(表現)				「木を作って作品を作ろう」(表現) 「自画像を描こう」(表現・鑑賞)					→		
	保健体育	陸上競技(からだづくり運動、陸上運動) プール(水泳運動)				プール(水泳運動) マット運動(機械運動) ソフトテニス(球技)					ダンス(ダンス) 性教育(保健)		
	職業・家庭	「パソコンを使おう」(作文)(情報機器の活用) 「衣食住のくらし」(衣食住について)				「パソコンを使おう」(プレゼン作り、アルバム作り) (情報機器の活用、職業生活)					「パソコンを使おう」(カレンダー作り)(情報機器の活用、職業生活)		
各教科を等合わせた指導	日常生活の指導	「朝の会」司会、日程確認、健康観察 / 「終わりの会」明日の予定確認、1日の振り返り											
		「当番活動」配布物、健康観察、お茶くみ											
		「給食」手洗い、準備、配膳、片付け											
		「身辺自立」身だしなみ											
	生活単元学習	「畑の取組(夏野菜)」 校外学習「大阪アクアライナーへ行こう」				校外学習「京都伝統産業ふれあい館へ行こう」 「畑の取組(冬野菜)」 「学校祭むけて」 「乙訓地域を調べよう」					校外学習「大山崎山荘美術館へ行こう」 「自分のよいところを見つけよう」		
		学年生単「新入生を迎える会をしよう」(3年) 「宿泊学習に行こう(2年)」				学年生単「仲良くなろう」(2年) 「修学旅行へ行こう」(3年)					学年生単 「卒業式にむけて」(3年) 「3年生を送る会にむけて」(2年)		
領域別の指導	特別活動	全校(入学式、始業式、離任式、避難訓練、交通安全教室、終業式)				全校(始業式、学校祭、避難訓練、終業式、きょうだい学級)					全校(始業式、卒業式、修了式)		
		学部(宿泊学習、校外学習)				学部(校外学習、修学旅行)					学部(長岡第二中学校との交流、3年生を送る会)		
	居住地校交流												
	自立活動	集団遊び(人間関係の形成、身体の動き、コミュニケーション、健康の保持) 個別の取り出し(運動機能・療育・言語) 療育の入り込み(心理的な安定、環境の把握、コミュニケーション)											
総合的な学習の時間		チーム活動				チーム活動 進路学習					チーム活動 進路学習		

[illegible]

単元名	生活単元学習「大阪アクアライナーへ行こう」	領域・教科の視点	社会、道徳、
学部クラス	中学部 6組 (2年、3年)	(教科・領域等関連表参照)	自立活動
＜本単元でつきたい力(単元設定理由)＞			
本単元では、昔から乙訓地域が京都と大阪をつなぐ水路、陸路の交通の盛んな地域だということを、体験をとおして学ぶことができるよう設定した。自分たちが住んでいる地域を流れる川や昔の主要道路である西国街道という切り口で見つめなおし、グループで歩き調べまとめることで学習を深めさせる。公共交通機関を利用して近くまで行き、乙訓地域の西国街道を歩く学習を設定し、現代と昔を体験的に比較できるようにした。また、桂川、木津川、宇治川の3つの川が大山崎町で合流し淀川となって大阪湾に流れていることや、昔はこの水路が人や物資を大量に運んでいたこと、アクアライナーの航路である大川は昔の淀川であり、度重なる自然災害のために新しい淀川の水路が作られた歴史を学習した後に、アクアライナーに乗船し記憶に残る学習としたい。			
＜前単元とのつながり＞			
昨年度のそれぞれの学級の学習で、自分や友達の居住地の小学校との交流や、その居住地の地域を知る活動をしてきた。今年度は、1学期の校外学習「大阪水上バス・アクアライナー乗船」をきっかけに、乙訓地域が昔から現在にいたるまで隣接した京都市や大阪府とどのようなつながりがあるのかを学習することとした。			
＜共生社会へのつながり＞			
身近な地域の地理や歴史、地域の安全等の学習をとおして、自分たちの住む地域への関心を広げ、地域に関わっていこうとする気持ちを養う。			
＜単元目標＞			
(1) 西国街道を歩き調べまとめる活動、大阪水上バス・アクアライナー乗船をとおして乙訓地域が昔から京都市と大阪府をつなぐ水陸交通の盛んな地域であることを知る。(知識・技能) (2) グループ学習で、実際に歩いた場所や川のとつながり等を、地図上で確認して写真を貼りまとめる。(思考力、判断力・表現力等) (3) 身近な地域を西国街道という切り口で学習することで、自分たちの住んでいる地域に対して関心を深める。(主体的に学習に取り組む態度)			
＜単元目標の評価規準＞			
(1) 西国街道を歩き、調べてまとめる活動に積極的に取り組むことができたか。(知識・技能) (2) グループで役割分担して学習したことをまとめ、発表することができたか。(思考力、判断力、表現力等) (3) 自分たちの住んでいる地域に対して関心を深めることができたか。(主体的に学習に取り組む態度)			
＜児童生徒の実態と目標＞			
児童生徒名	実態(単元内容と絡めて)	個人の単元目標	手立て
A (2年)	公共交通機関を利用して友達と一緒に活動することができる。興味の幅がせまく、友達と同じ内容の会話をするのが苦手である。	・乙訓地域に関心を持ち調べたことを友達と一緒にまとめる。	・友達と活動できるようグループ学習を取り入れる。
B (2年)	土地勘もあり、生活面で知っていることが多い。友達の気持ちや、活動ペースに合わせて行動することが苦手である。	・乙訓地域に関心を持ち調べたことを友達と一緒にまとめる。	・友達と活動できるようグループ学習を取り入れる。
C (2年)	麻痺の影響で地域に出ることへの困難さはあるが、自分の住んでいる地域に対する興味が強く、公共交通機関の利用も意欲的にできる。	・乙訓地域のことを、友達と一緒に体験的に知ることができる。	・公共交通機関を利用して、地域を歩いて調べる。

D (2年)	肢体不自由があり、様々な社会経験の乏しさがある。同年代の友達との活動や公共交通機関の利用を繰り返し、意欲が強まり、集団での活動がスムーズになってきた。	・乙訓地域のことを、友達と一緒に体験的に学び、まとめる。	・公共交通機関を利用したり、地域を歩いたりして調べる。グループ活動を取り入れる。
E (3年)	一人で友達の家や、京都市等、公共交通機関を利用して行くことができる。友達と一緒に地域の歴史を調べ、大阪へ行く活動をとおして、学習を深め、活動範囲を広げることができる。	・乙訓地域のことを学び、他地域のことも意欲的に学ぶ。	・大阪への公共交通機関を利用した校外学習を実施する。
F (3年)	友達と一緒にカラオケに行く等の生活力がある。体験をとおして、地域の歴史や、公共交通機関の利用の仕方等学ぶことができる。	・乙訓地域のことを自立して生きる場として学ぶ。	・公共交通機関の利用や長岡京市から向日市を歩いて調べる。
G (3年)	自転車に乗ることができず、活動範囲がせまい。公共交通機関の利用の仕方を、体験をとおして学習して生活で利用していけると良い。	・公共交通機関を利用して乙訓地域を体験的に学ぶ。	・公共交通機関を一人で利用できるようにする。
H (3年)	家の人と一緒に京都や大阪、兵庫等、公共交通機関を利用してよく出かけている。自分のつもりやペースがくずれることが苦手である。	・乙訓地域を、友達と一緒に歩いて調べ、まとめる。	・グループでの学習を設定する。

単元計画表

次 (時間)	学習活動	評価規準
1次 (8時間)	・学習の見通しをもつ。 ・乙訓地域が昔から水陸交通が盛んであったことを知る。	・乙訓地域の昔の交通手段として淀川、西国街道があったことを理解することができたか。 ・今の公共交通機関と比較し昔と今の変化を理解することができたか。
2次 (6時間)	西国街道を歩く。 ①「阪急西山天王山駅～神足ふれあい町家～長岡京駅」 ②「阪急東向日～富永屋～阪急西向日」	・西国街道をグループで歩いて調べ、まとめることができたか。 ・昔から残る町家や、宿屋へ行き、体験的に感じながら、話を聞くことができたか。
3次 (1時間)	・乙訓地域で合流した淀川を運航している大阪水上バス・アクアライナーに乗船する。(校外学習)	・乙訓地域から流れてきている淀川を運航していることを感じながら、大阪水上バス・アクアライナーに乗船することができたか。
4次 (4時間)	・まとめ - 西国街道のまとめ - アクアライナーのまとめ	・グループの友達と役割分担して、西国街道のまとめをし、乙訓地域への理解を深められたか。 ・校外学習のまとめができたか。

<この単元で身についた力>	<次の単元に生かせる力>
・自分たちの住んでいる地域に対しての理解を深めた。 ・公共交通機関を利用して体験的に学習しようとする意識を高めた。 ・グループでの調べ学習をとおして、友達と気持ちやペースを合わせて行動し、コミュニケーションしようとする力をつけた。	・地域に対する興味関心を広げることで、さらに広い地域のことも知りたいという気持ちにつなげる。 ・日常生活でも、自分で公共交通機関を利用しようとする気持ちを育て、卒業後の自立の幅を広げる。 ・グループ活動や話し合い活動をとおして、友達と一緒に活動する喜びを感じる。

「喜びをともにする授業」～多様性は可能性～



児童生徒の変容エピソード

	写真	児童生徒の様子
一次		ワークシートや iPad での調べ学習をとおして、乙訓地域は京都と大阪をつなぐ、昔から淀川の舟運と西国街道といった水陸交通のさかんな地域だったことに気づくことができました。普段あまり意識することがありませんでしたが、西国街道という昔からある道路が今でも残っていることに、「すごいな」と驚きの感想を話していました。
二次		実際に「阪急西山天王山駅～神足ふれあい町屋～JR 長岡京駅」「阪急東向日～富永屋～阪急西向日」のルートにある西国街道を歩きました。2つのグループに分かれて、江戸時代のなごりを見つけて、iPad で写真を撮りました。グループでの活動にすることで、お互いに声を掛け合いながら協力して活動する姿が見られました。江戸時代から残っている建物を活用した「富永屋」や「神足ふれあい町家」にも立ち寄って、働いておられる方や管理をされている方から、建てられた経緯や、現在されていることなどのお話を聞き、「昔からある建物が残っていてすごい」、「こんな歴史があるんやね」など話をしていました。
三次		校外学習で「大阪水上バス・アクアライナー」に乗船しました。旧淀川や大川などの標識を見つけ、川のつながりを実際に見て学ぶことができました。標識を見つけては、指導者に聞いて確かめ、机上での学習が体験的になり、さらに深い理解につながりました。
四次		まとめとして、西国街道や大阪水上バス・アクアライナー乗船への校外学習で見つけたものの写真や感想等を、地図上に貼り込みました。実際に見たことを地図に残すことで、さらに理解が深まりました。グループでの活動の中で、「この川はここにつながっているね」や、この学習をとおして学んだことを話し合いながらまとめることができました。

<単元全体をとおして>

自分達が住む乙訓地域を流れる川や、昔の主要道路である西国街道という切り口でこれまでたどってきた歴史や現在の様子を学ぶことができました。実際に西国街道を歩く活動をするなかで、昔の主要道路や建物が残っていることへの気づきにもなりました。また、建物の中を見学したり、地域の方に話を聞いたりすることで、昔と今の違いを実感して学ぶことができました。本単元をとおして、自分たちの住む地域を少し違った視点から見ることで、新しい発見があることに気づき、生徒同士で主体的に学び合い、生活する地域への興味が広がったと思います。